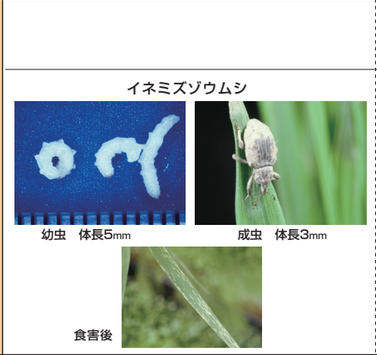
令和８年度　稲作こよみ

津安芸農業協同組合
監修　ＪＡ全農みえ

生育時期

	播種	田植	中干し開始	出穂 20日前	出穂 18日前	出穂	落水	収穫
コシヒカリ	3/24	4/15	6/1		6/24	7/12	8/11	8/17
	4/5	4/25	6/5		6/29	7/17	8/16	8/22
	4/18	5/5	6/10		7/2	7/20	8/21	8/27
キヌヒカリ	3/31	4/25	6/4	7/3		7/23	8/22	8/30
みえのゆめ	4/10~15	5/5	6/14	7/16		8/5	8/31	9/7

水管理



中干

- 活着するまで深水にして保護
- 田植中はひたひた水
- 切らさない様に注意する
- 除草剤散布後30日程度は水を
- 浅水管理（2㎝～3㎝目安）
- 中干し開始（遅れないように）
- 1株20本程度になったら
- ※乾きにくい圃場は溝切りを!!

中干し限度

- 走り水根痛み に注意!!
- 中干し直後は
- 5～7日に1回水を入れる程度の間断灌水又は足跡水
- 出穂期は水が必要

重要水管理期間
未熟粒防止の為の

落水

- 収穫7日前まで土壌水分を維持
- 落水が早いと減収する

主要作業

- 播種量は催芽籾1.5～1.8合
- 塩水選・種子消毒
- （初期除草剤散布）
- イネミズゾウムシ 防除（箱施用）
- **葉いもち病**
- 田植（坪当り50～70株・1株当り2～5本を目安に）
- 一発処理除草剤散布
- （中期除草剤散布）

田植直後に補植苗を撤去しましょう！

- （後期除草剤散布）
- 登熟向上資材施用
- けい酸加里
- イネクロカメムシ防除
- 葉いもち予防
- 紋枯病防除
- 第一回穂肥
- **畦畔の草刈**
- 穂いもち防除
- 第二回穂肥
- 耐暑肥
- **いもち・カメムシ防除推奨**

- 適期刈り取り
- 一穂に青籾が2～3粒残っている頃
- 収穫後早期に耕起する
- 土づくり
- 堆肥施用
- ケイカル・農力アップ施用

病害虫防除

箱施用の防除（播種時～田植時）

いもち病・内頴褐変病・ウンカ類 イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ	ツインターボ箱粒 播種時（覆土前）～移植当日に1箱50g施用
いもち病・紋枯病・ニカメイチュウ イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ	スタウトアレスモンガレス箱粒剤 播種時（覆土前）～移植当日に1箱50g施用
いもち病・イネクロカメムシ・ニカメイチュウ イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ	Dr.オリゼスタークル箱粒 緑化期～移植当日に1箱50g施用

生育中期の防除

葉いもち

○予防は粒剤で防除する
コラトップ粒　3kg
オリブライト豆つぶ　250g
○発生を認めたら直ちに粉剤で防除する
ブラシン粉DL　3kg

穂いもち

コラトップ粒　3kg
○穂ばらみ期（粒剤、粉剤）、穂揃期（粉剤）

出穂期前後の防除

いもち病・カメムシ類	紋枯病	稲こうじ病	カメムシ類
ビームスタークル粉剤５ＤＬ　3kg	モンカットフロアブル　500㎖	モンガリット粒 3kg	スタークル粒　3kg スタークル豆つぶ　250g
○出穂期～穂揃期の夕方に防除する	○出穂前１５日前後が散布適期	○出穂2～3週間前が散布適期	○イネクロカメムシは発生初期 6月上旬頃 ○斑点米カメムシは出穂期前後 ○出穂期の2回防除がオススメ（7月20日・30日目安）

カメムシの食害による斑点米は等級落ちの原因となります。しっかりと防除をしましょう！

※農薬を使用する際は、周辺作物等への飛散（ドリフト）に充分注意してください!!　　※気候条件によって前後する場合があります。

白未熟粒（シラタ）軽減対策

●土づくり
ケイカル・農力アップなどの土壌改良資材を収穫後に散布し、根張り良くしっかりとした稲を作り、倒伏や病害虫を発生しにくくし収量・食味を向上させる。

●早期落水の防止
早期に落水する事により土壌水分が低下して、株が枯れ、白未熟粒が発生しやすくなるので収穫7日前までは落水せず、土壌水分を維持させる。

●白未熟粒軽減資材の活用
数年前より、県の農業研究機関にて試験を行なった白未熟粒軽減資材（下記参照）を施用する事により軽減させる（但し、気象条件等により効果に差があります）。

ヒレタゴボウ防除対策

アカバナ科の水田外来雑草「ヒレタゴボウ」は、十数年前から三重県でも目立ち始め、2021年～2022年の実態調査では県内の72%の圃場で発生が確認され、多発すると水稲栽培への影響が甚大となることから対策が急務となっています。

✧ヒレタゴボウ防除のポイント✧
- 丁寧＆均平な代掻き
- 移植～中干時の湛水管理※
- 農薬の体系処理

※ヒレタゴボウは湛水条件下では生育抑制され枯死しやすい

水条件	生存数（株/区）	乾物重（g/区）
湿潤区	44.0	96.0
間断区	20.3	147.3
湛水区	0.0	0.0

湿潤区：湛水なし（湛水深さ-5㎝）
間断区：田面が露出する程度を維持（湛水深±1㎝）
湛水区：常時湛水を維持（湛水深5㎝）
生存数は水稲成熟期に生存していたヒレタゴボウの株数
※出典：農業研究所 成果情報

施肥設計

◎コシヒカリ元肥一発（10a）白未熟粒軽減資材

施用時期	肥料名	施用量
田植10日前～田植時	Jコート022	35～40kg

◎その他の品種元肥一発（10a）

品種	肥料名	施用量
あきたこまち	エムコート489（早生用）	40～50kg
みえのゆめ	セラコートR2500（中晩生用）	45～55kg

◎コシヒカリ分施栽培肥料（10a）

施用時期	肥料名	施用量
田植10日前～田植時	水稲元肥化成284	25～35kg
第一回穂肥（出穂18日前）	NK化成7号	10～20kg
第二回穂肥（出穂7～10日前）	NK化成7号	10～20kg
耐暑肥（穂ばらみ期）	NK化成7号	5～10kg

◎品質・登熟向上資材（10a）

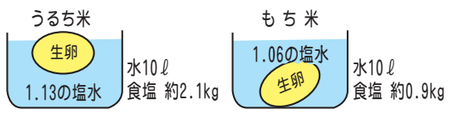
	資材名	施用量	施用時期
高温対策	けい酸加里	20～40kg	田植後30～45日
登熟向上	FTEミネラス	3～6kg	出穂前35～25日まで

効果
1.活力ある根が張り、稲体を強化し倒伏に強くなります。
2.登熟が高まるとともに粒張りが良くなり、食味向上に役立ちます。

育苗

◎種子の準備　毎年種子更新しましょう。

◎塩水選



◎種子消毒

作業	温度・日数	要点
消毒	15～20℃ 24時間	**みえのゆめ以外の品種** 種籾と同容量の薬液を作る（水20ℓ当り） テクリードCフロアブル…100㎖（馬鹿苗病･もみ枯細菌病） スミチオン乳…20㎖（イネシンガレセンチュウ） **みえのゆめ** 種籾と同容量の薬液を作る（水20ℓ当り） モミガードCドライフロアブル…100g（ごま葉枯病《必須》･馬鹿苗病･もみ枯細菌病） スミチオン乳…20㎖（イネシンガレセンチュウ）
浸種	10℃では 10～12日 15℃では 7日～	水の量は籾の容積の2倍以上とする 始め2～3日は静置、その後1～2日毎に水を換え コシヒカリでは長目に漬ける ※積算温度100℃以上
催芽	30～32℃ 1～2日	ハト胸とし、芽は伸ばさない

（注）テクリードCフロアブルは使用前に容器をよく振ってから使用して下さい。廃液は河川水路に流さないでください。

◎育苗箱消毒　イチバン500～1000倍液に箱をさっと浸ける

◎培土　箱入れ後、乾かさないよう注意しましょう。（1箱当り約3～4kg必要）

◎病害防除

農薬名	時期	1箱当り施用量	備考
タチガレエースM粉	播種直前	6～8g	
タチガレエースM液 ナエファインフロアブル	播種時	500～1000倍、2000倍（500㎖）	ムレ苗にも有効 ※リゾープス菌に効く

◎播種　厚播きは苗質を悪くする。催芽籾1.5～1.8合とする。均一に播く。土の表面の水が引いてから播種する。覆土は籾がかくれる程度

◎育苗管理

作業	温度・日数	要点
出芽	30～32℃ 約2～3日	芽の長さ1～1.5cmにする 光を当てない
緑化	日中20～25℃ 夜間15～20℃（保温・暖房） 約3日	緑化は2段階の作業 （1）緑になるまで覆いをする（新聞紙など） （2）鞘の部分を3.5cmに伸ばす **フジワン粒**による健苗育成、ムレ苗予防 播種後3～7日に散布。25～50g/箱 早い程、又薬量が多い程短苗になるので注意 被覆中もカビの突発に注意
硬化	日中15～20℃（換気） 夜間10～15℃（保温） 約15日～20日	日中高温にしないよう特に注意する 緑化用の厚手白ビニールは使わない ハウス・トンネルは一日中日当りの良い場所 灌水は1日1回、1～1.2ℓ/箱 午前中（遅くても15時まで）がよい ハウス内にワラ、モミガラがあるといもち病が伝染する。 箱の下にビニールを敷く場合は穴をあける

土づくり　土づくりは品質向上への第一歩です。

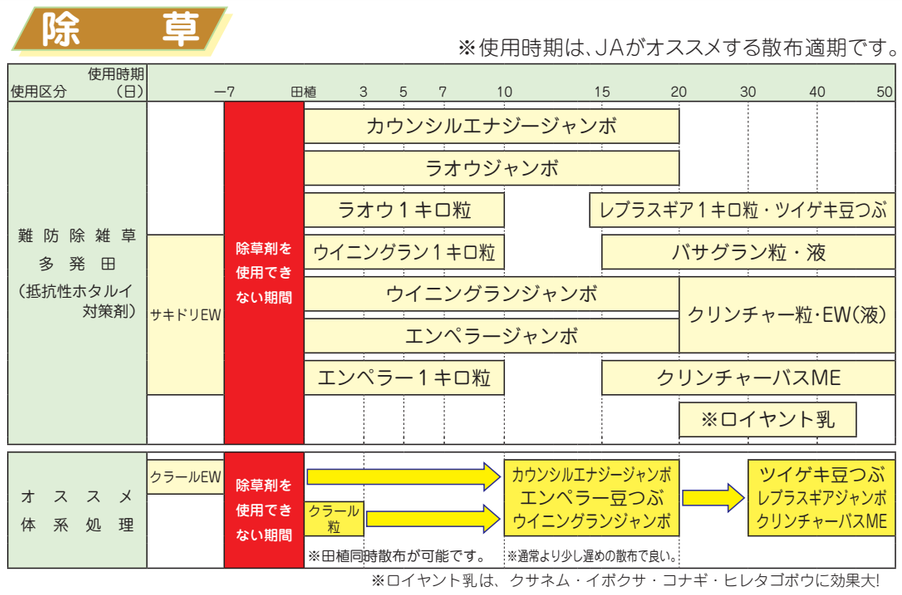
(1)有機物の施用　堆肥を連年施用する（年内施用）1～2トン
湿田、半湿田では完熟のもの500kg
稲わらすき込み
•秋起こし（刈取直後）
•石灰窒素10～20kg（秋起こし時）施用

(2)深耕　作土層を深くする（15～20cm）
下層が不良土壌の場合は行わない

(3)土づくり肥料の施用　ケイカル　200kg
ようりん・リンスター　40kg（黒ボクでは80kg）
（ケイカルの省力材）農力アップ・リンスター入り農力アップなら反当り100kg

除草

※使用時期は、JAがオススメする散布適期です。



※ロイヤント乳は、クサネム・イボクサ・コナギ・ヒレタゴボウに効果大!

除草剤の正しい使い方
- **散布適期、散布量を厳守する。**
- **田面の均平と適正な水管理。**

田植え同時散布可能な初中期一発除草剤
- ラオウ1キロ粒
- ウイニングラン1キロ粒
- エンペラー1キロ粒

ノビエに対する使用時期

農薬名	使用時期
カウンシルエナジージャンボ	3.5葉期まで
エンペラー1キロ粒	3.0葉期まで
エンペラージャンボ	
ウイニングラン1キロ粒	2.5葉期まで
ウイニングランジャンボ	
ラオウジャンボ	
ラオウ1キロ粒	

※ムレ苗防止　健苗育成にフジワン粒!!
※品質向上には、毎年種子更新と土づくりをしましょう!!　　※稲ワラの流出防止のため収穫後早期に耕起しましょう!!

防除日誌

使用月日（天候）	使用薬剤名	倍率・量	全使用量	使用目的
月　日（　）				
月　日（　）				
月　日（　）				
月　日（　）				
月　日（　）				
月　日（　）				

作業日誌

作業月日	圃場	作業内容	備考
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			

安全・安心な米づくりのために栽培履歴（防除日誌）を必ず記帳しましょう！　　農薬の安全使用基準を守りましょう！